

## 算数

小学校 第4学年

OS・ソフト等

- iPad
- ロイロノート

<単元・題材名等>

面積

ねらい

L字型の図形の面積を求める活動を通して、複雑な形の図形の面積は、既習の長方形や正方形の面積の公式をもとにして考えればよいことに気付き、面積の求め方を図や式を使って説明することができる。

### 主なICTの活用方法

- ・ 課題解決の見通しがもてる導入の工夫
- ・ 意図を明確にした交流活動の工夫

### ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 既習の図形を基にして考えるという見通しをもつことができる。
- ・ 面積の求め方を図に書き込んで説明することで、式と図を関連付けて考えることができる。

### 実践の概要

- ・ 導入の場面では、大型提示装置を用いて、既習の長方形・正方形の面積の問題を示すとともに、本時の学習内容であるL字型の図形の面積の問題を示し、違いを明らかにしながら、本時の課題意識をもてるようにする。
- ・ 個人追究の場面では、画面上で複雑な図形を既習の図形に分けたり、補ったりして、自分の考えを書き込み、式と図を関連付けて考える。
- ・ ペアやグループ交流の場面では、ロイロノートに書いた自分の考えを仲間に示しながら、筋道立てて面積の求め方を説明する。

### 児童の学びの様子

- ロイロノートに映したL字型の図形に直線を書き加えて、どのように分けたり、補ったりしたのかを分かるようにしていた。さらに、辺の長さを書き加えたり、求め方を式に表したりしていた。多くの児童が長方形や正方形を基にして考え、面積を求めることができた。
- 全体交流の前には、一度、大型提示装置に全ての児童の考えを示し、考えを整理した上で、全体交流を行っていた。全体交流の場面では、同じ考えの仲間の意見に対して、考えを付け足し、よりよい表現にすることができた。



### 指導のポイント

- 導入の場面では、ICT 端末や大型提示装置を用いて様々な図形を示し、解決の見通しをもったり、前時との違いを明確にしたりする。
- 交流の場面では、ICT 端末や大型提示装置に、自分が書き込んだロイロノートの画面を映し、それを指し示しながら、筋道立てて説明を行うことができるようにする。